

小論文検定 2023 年第 1 回検定(前期・後期)の課題

スタンダードコース

4 級 / 5 級 / 6 級

制限字数=800字 時間=60分
文章は常体で書くこと。

■課題■ 若者の投票率を上げる方法について

2016年6月施行の改正公職選挙法により選挙権年齢は18歳以上に引き下げられ、同年7月に18歳以上を有権者とする初の国政選挙となる参議院選挙が行われた。選挙権年齢の引き下げは、海外諸国の多くで選挙権が18歳以上であることや、若い有権者を増やすことで若者の民意を政治に反映していくことなどのねらいから行われた。しかし、実施後の投票率をみると10歳代の投票率は21年10月の衆議院議員選挙で43.21%（全年代では55.93%）、22年7月の参議院選挙では同35.42%（同52.05%）と、低い水準にとどまっている。

若者の投票率を上げる取り組みとして未成年模擬選挙など、さまざまな取り組みも行われ始めている。あなたは若者の投票率を上げるためにはどうすればよいと思うか、投票率が低い理由や実際に国内外で行われている取り組みをふまえながら800字以内で述べよ。

マスターコース

1 級 / 2 級 / 3 級

制限字数=1200字 時間=90分
文章は常体で書くこと。

■課題■ 世界に売り込みたい日本の技術・サービス・商品について

世界知的所有権機関（WIPO）の2022年版「グローバル・イノベーション・インデックス（GII）」によると各国の技術革新力を示す指数で日本は13位で、アジア諸国では韓国（6位）や中国（11位）よりも低くなっている。この順位を決めるスコアで日本は「人的資本と研究開発」や「創造的な生産」などが低いとされており、新しい産業のサービスや商品の輸出に占める割合が低いことが原因の一つとして考えられている。そうした分野での人材と産業を育成し、新たな技術やサービスの開発に取り組んでいくことが課題となっている。

一方で、精密機器や素材、機械加工から農水産物・食品などの食材まで、日本が世界に誇る技術・サービス・商品は数多くある。あなたが世界に売り込みたい日本の技術・サービス・商品は何か、具体的な例を挙げたうえで、どのように売り込んでいきたいかを1200字以内で述べよ。